

授業学習活動に関すること

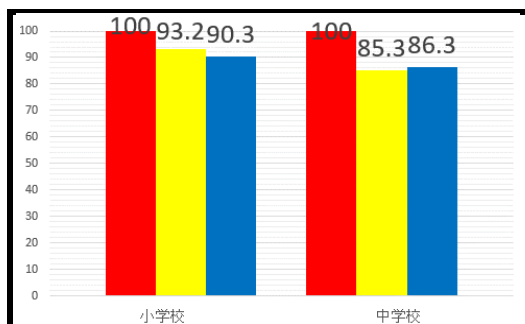
学校質問紙からみえてくる東員町の小中学校（令和6年度）

東員町

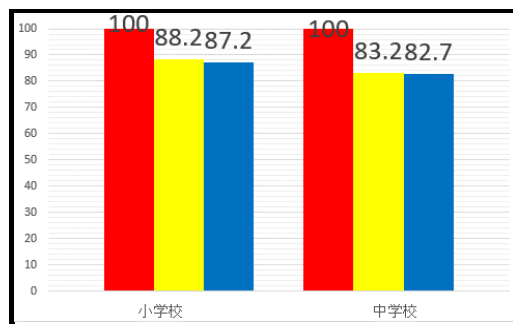
三重県

全国

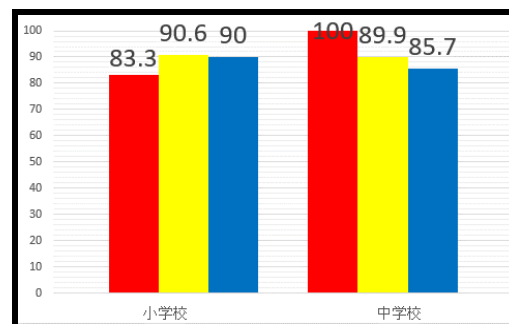
①調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか。（よく行った・どちらかと言えば行った。）



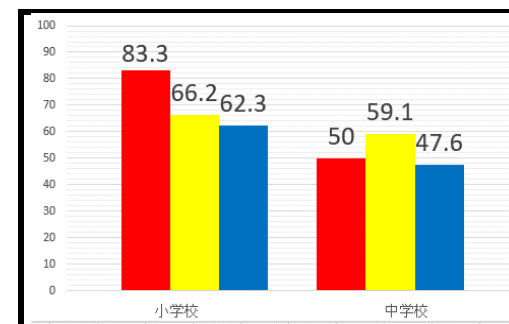
②調査対象学年の児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか。（よく行った）



③児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設置し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修をおこなっていますか。（よくしている、どちらかといえばしている。）



④授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか。（よく行った）



○東員町の16年一貫教育プランの軸は『3感を高める取り組み』です。調査項目「児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する」は、それに一致します。全国的にも、肯定回答が多いですが、町内すべての小中学校が、その実践を進めてきた結果、小中ともに100%を達成しています。（①）

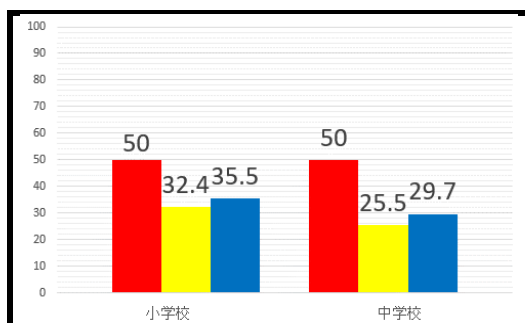
○「相手の考えを最後まで聞くことがよくできている」と回答した小学校が、県と全国値に比べて20%近く高い結果でした。東員町各小中学校では、日々の授業の中でグループ活動などの学び合いを通して、子どもたちが意欲的に活動している結果だととらえています。（②）

○各小中学校では教職員が意欲的に研修に励んでいます。具体的には、令和5年度より、町内の学校で、(1)リーディングスキル（読み解く力・伝える力の育成）、(2)安心・いきいき（関わり合い学び合う力の育成）、(3)愛情いっぱい（16年一貫教育プランと実践と共有）を合言葉にして、全ての教育活動において、取組を進めています。そして、取組の質を高めるために、各校で様々な校内研修を行っています。（③・④・⑤）

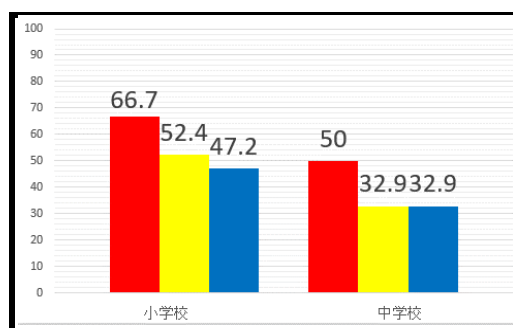
家庭学習に関すること

⑤（小）調査対象学年児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に創造し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか。

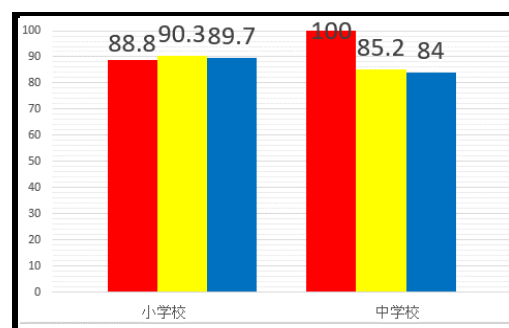
（中）調査対象学年生徒に対する国語の授業において、前年度までに、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるように指導を行いましたか。（よくしている）



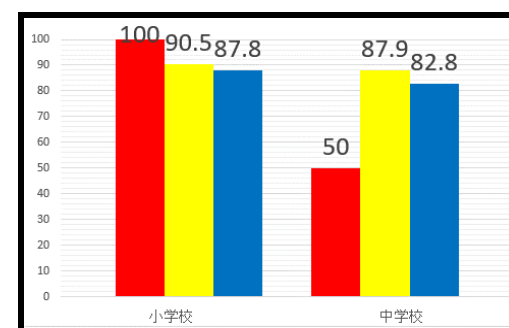
⑥調査対象学年児童生徒に対して、前年度までに家庭学習の取組として、学校では家庭での学習方法等の具体例を挙げながら教えましたか。（よく行った）



⑦調査対象学年児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習について、児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか。（よく行った・どちらかと言えば行った。）



⑧調査対象学年児童生徒に対して、前年度までに、学校では児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かしましたか。（よく行った・どちらかと言えば行った。）



○県や全国と比べて、小中学校ともにについて、具体的な家庭学習の方法を児童生徒に提示し、児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めて、取り組むことができています。家庭学習は学習習慣の確立につながり、学習方法を自己決定していく過程があることで、児童生徒の自主性・主体性も高まっていくと考えられます。ただ、中学校については、家庭学習の中で現れた児童生徒の課題を日々の授業にフィードバックしていく部分が弱いので、PDCAサイクルの流れに沿った、改善活動をすすめていきます。（⑥・⑦・⑧）